

みさき

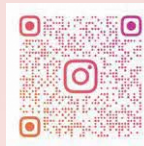
74号

美咲町議会だより

2023年11月10日発行



議会HPへアクセスします



MISAKI_CHO_GIKAI_OFFICIAL

インスタ始めました!



主な内容

令和4年度決算審査.....②～⑤
こんなことが決まりました.....⑥～⑦
9議員が町政を問う.....⑬～②②

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

表紙関連記事23ページ

大きく育て美咲の子ども SNSを活用しよう
美咲町HPアドレス <https://www.town.misaki.okayama.jp>

令和4年度
決算認定

50

項目の意見を付して

全会一致で承認



各委員が決算や事業内容をチェック

3日間にわたり決算認定特別委員会を開催し、令和4年度決算について各委員からの意見を集約。

決算認定特別委員会の報告書を
松島議長へ提出

決算審査において、各委員から出された指摘事項50項目をまとめた報告書を矢吹委員長、板垣副委員長から松島議長へ提出。



議会からの要望書を青野町長へ提出

決算認定特別委員会からの報告書を基にまとめた議会からの要望書を松島議長、左居副議長から青野町長へ提出。





決算認定特別委員会からの報告

決算認定特別委員会は、前年度で執行された予算が適正なものであったかを確認するため、全ての課が所管する決算について審査を担当しています。

委員長／矢吹一郎 副委員長／板垣正寿 ほか全議員を委員とする14人で審査しています。

来年度に
向けて

全体総括意見を付す！

本会議での委員長報告において指摘した特に付しておくべき意見は以下の通りです。

意見 入札制度の改善

不安定な世界情勢により諸物価高騰など流動的な時代に即応出来る入札制度への改善を求める。

意見 各種委員のなり手不足解消

高齢化が進む中で民生委員児童委員、愛育委員、栄養委員などの報酬の見直しと、人員配置計画の検討を望む。

意見 基金の見直し

運用規模が小さく予算処置で対応できる事業など、整理統合を行い相互の関係を精査し柔軟な管理運用を求める。

意見 上水道の有収率の向上

多大な経費ロスの要因である漏水に関して、今までの維持管理に対する意識を刷新して方針を打ち出し有収率の向上を求める。

意見 小規模多機能自治への推進

事業推進において地域差が大きく生じている。組織横断的に連携を密にし早期認定へ向けての支援充実を求める。

意見 借地解消へ向けた取り組み

長年の懸案事項である借地に関して、学校建設を契機と捉え借地に関する様々な問題を一掃する本格的な取り組みを望む。

意見 地方債の借入状況に注視

財政規模が拡大するなか、起債の借入状況に制限がかかる事のないように実質公債費比率に注視し抑制に努めなければならない。

意見 こども笑顔課の取り組みに期待

子ども関連の業務は各課に偏在している状況であるが、目標を定めて各課を結ぶコーディネーターとしての業務執行を望む。

意見 若者定住施策の充実

公営住宅のトイレの水洗化など若者が住みやすく利用しやすい環境整備に向けて、方針を定め着実な取り組みを求める。



● 9月定例会：前年度決算を審査・認定

● 議会からの指摘・意見をとりまとめ
● 来年度予算などへの要望書を提出

● 3月定例会：来年度予算案を審査

決算認定特別委員会では、決算状況や事業内容をチェックし、「来年度予算にどう反映させるか」という視点で審査を行いました。

決算審査 私の意見!

一般会計	137億1,195万円(前年度比0.5%減)
16特別会計	55億5,037万円(前年度比11.1%減)
公営企業会計	8億8,079万円(前年度比2.8%減)

【※決算額は1万円未満四捨五入】

全議員14人を委員とする令和4年度歳入歳出決算認定特別委員会が設置され、9月13日から3日間にわたり決算の審査を行いました。

今回の審査では、①議会が議決した予算が効果的・効率的に執行されているか②決算における評価を来年度予算編成や役場の運営にどのように反映させるのかという点を中心に審査を行いました。

ここでは各委員から出された50項目の指摘事項のうち主な意見を掲載します。

安心・安全

主な事業

公共施設管理、防災、国際交流、情報通信など

総務費

29億1,860万円

衛生費

11億5,175万円

小林委員



大阪府堺市との
防災協定

緊急事態を想定した具体的な取り組みなど協力体制の構築を求める。

延原委員



公営住宅の
水洗化

若者が住みやすい環境整備として公営住宅のトイレの水洗化を求める。

松田委員



借地問題の
解消

義務教育学校建設を契機に借地に関わる問題を一掃する本格的な取り組みを強く求める。

福祉・教育

主な事業

高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、学校教育など

民生費

28億6,917万円

教育費

27億1,697万円

松島委員



各種委員の
報酬見直し

ボランティア精神に依存するだけでなく実態に合った報酬の見直しを求める。

藤井委員



避難行動
支援

避難行動要支援者登録の取り組みを推進し緊急事態の体制整備を求める。

山本宏委員



出生率
向上への
対策

出産祝い金など政策の見直しにより若者世代に結婚への意識改革を促すことを求める。

歳入・歳出決算認定を全会一致で承認しました。

監査委員の指摘

◆不用額の縮減について

一昨年からの指摘により改善は見られるものの、流用・補正・予備費充当までしたうえで不用額が出ている。自課予算の執行額を把握し、理財課を中心に全体的な不用額の縮減を求める。

◆予備費の充当について

軽微な理由により予備費を充当している事例が見られる。予備費は本来災害など緊急事態への対応に限られるため全庁的に予備費充当に対する意識を改める必要がある。

◆備品台帳の整備について

昨年度の指摘により、備品台帳について各課で整備を進めているが新庁舎への移転も視野にいれ、会

計管理者を中心に美咲町財務規則に基づき適正に処理を進めること。

◆公共施設の見直しについて

公共施設個別施設計画を各課において策定中であるが、美咲町経営マネジメント指針に基づき、早期具体化に向けて努力されたい。

◆現金の収受、管理について

現金を取り扱う可能性がある職員は全て分任出納員として届け、分任出納員領収印の適正管理に努めること。

また、現金を受領した際には確実に領収書を発行し、速やかに指定金融機関へ入金の手続きを行うこと。

特別会計・公営企業会計

主な事業

みさきネット、国民健康保険、介護保険、上・下水道など

特別会計事業

55億5,037万円

公営企業会計事業

8億8,079万円

形井委員



介護保険事業

介護保険事業の保険料の策定時には基本に基づいた算定を求める。

三船委員



有収率の改善

上水道の漏水対策を抜本的に見直し有収率の改善を強く求める。

山本委員



農業公社の活用

農業公社の周知と荒廃地対策など範囲を広げた積極的な活動を求める。

産業・建設

主な事業

農林業振興、道路整備、観光、災害復旧、企業誘致など

農林水産業費

7億4,068万円

土木費

11億1,325万円

中西委員



残土処理のシステム

公共工事で発生する残土処理に官民マッチングシステムの導入を求める。

左居委員



森林経営管理制度

森林計画について着実に集積計画を策定して早期の実施を求める。

則古委員



外国人への行政対応

増加傾向にある外国人に対する行政サービスの体制作りを求める。

以上のような審議を経て、美咲町議会は令和4年度

要 望

太陽光発電システムを導入

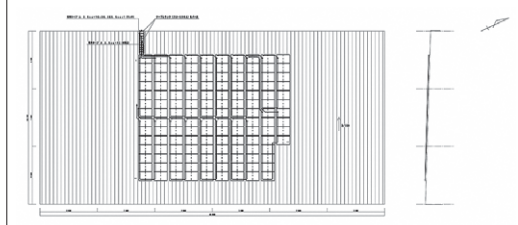
9億2,618万円など18件の議案が議決されました。

カーボンニュートラルの実現へ

事業進行中の多世代交流拠点施設に、太陽光発電システムを新たに導入し、国が目指すカーボンニュートラルの実現に向け整備する。

〔多世代交流拠点整備事業費 1億9,000万円〕

生涯学習棟太陽光パネル配置図



畜産農家への支援

飼料代の高騰や乳価低迷による畜産農家の経営を支援する。

〔畜産事業者支援事業費 4,437万円〕



農地災害の復旧

本年5月豪雨災害(農地災害8件)に対応するための増額補正。

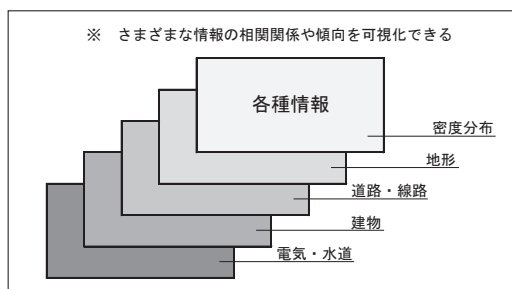
〔農地災害復旧事業費 3,408万円〕



地理情報システムの作成

町内の地形や道路情報を盛り込んだ新たな地理情報システム(GIS)の作成費。

〔美咲町GIS整備事業費 7,607万円〕



商品であって使用しない軽自動車等の軽自動車税課税免除に関する要望

美咲町自動車販売事業者
代表者 鈴鹿 良浩

自動車販売の活性化を目指し減免制度を求めるものがあるが、小規模自治体では制度創設・運用に関し、費用面での負担が大きくまた、減免によるメリットも期待できないことから、全会一致で**不採択**とした。

燃料価格高騰にともなう燃料コスト補填に関する要望

一般社団法人岡山県トラック協会 美作支部
支部長 安藤 忠徳
役員 岡部 浩二
津山分会
役員 奥村 哲美

貨物運送事業者の燃料コスト高騰の中での企業経営の厳しさは理解できるが、現在の状況では補填措置を行う財源がなく、全会一致で**趣旨採択**とした。

9月議会

でこんなことが
決まりました

多世代交流拠点施設に

令和5年9月4日～9月22日まで定例議会が招集され一般会計補正予算

带状疱疹の予防接種費用助成

町内在住の50歳以上を対象に町が独自で
带状疱疹予防接種費用の一部助成制度を新
設する。

〔予防接種事業費 136万円〕



ワクチン接種の体制整備

予防接種の住民への情報提供、医療機関の
予約および接種に向けた体制整備。

〔新型コロナワクチン接種事業費 3,210万円〕



事業未実施により返還

国民健康保険事業特別会計において、事業
の一部が未実施であったため、交付金を返還す
る。

〔特定健康診査等負担金償還金 431万円〕

多世代交流拠点整備

生涯学習棟・産業棟に公共図書館システム
の移転委託や情報ネットワークを構築するため
情報機器を購入する。

〔多世代交流拠点整備事業費 4,537万円〕

意見の分かれた
議案

○は賛成 ×は反対 (議長は裁決に加わりません)		松島議員	左居議員	山本宏議員	松田議員	延原議員	形井議員	小林議員	藤井議員	山本資議員	板垣議員	三船議員	矢吹議員	則吉議員	中西議員
議案第 104号	多世代交流拠点施設の太陽光発 電システム導入に関する補正予算	議長	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×

条
例

非常勤職員等の報酬及び費
用弁償に関する条例の一部
改正

美咲町福祉事務所嘱託医設
置規則及び美咲町自殺対策計
画策定委員会設置要綱に基づ
く報酬を支給するため、条例
の一部を改正するもの。

消防団条例の一部改正

消防団員の高齢化が進み、
人口減少も伴い団員定数の充
足が見込めないことから、条
例の一部を改正し、定数を8
10名から710名にする。

契
約

工事請負契約の変更

◇柵原地域義務教育学校建
設事業 美咲町立柵原学
園新築工事
契約の相手方
株式会社 安藤・間
広島支店

変更後契約金額

28億6千770万円(税込)

変更前契約金額

28億4千900万円(税込)

支店長 山本健史

委員会 の活動

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民生活課、長寿しあわせ課、健康推進課、こども笑顔課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課、各総合支所地域振興課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／形井 圓 副委員長／小林達夫 委員／則吉洋介、三船博之、板垣正寿、藤井智江、左居喜次の7人で審査しています。

【住民税務課】 衛生処理組合への負担金

問 津山衛生処理組合の負担金
40万2,000円増額の理由は。

答 クリーンセンターの可燃ごみ
削減のため、脱水污泥の一部
を外部搬出し処理したため。

【長寿しあわせ課】 あさひが丘改修費

問 あさひが丘の改修費1,000万
円増額の理由は。

答 想定外の建設資材物価と人
件費の高騰により追加措置を
行った。

【健康推進課】 带状疱疹ワクチン

問 带状疱疹のワクチンに対する
補助の内容は。

答 生水痘ワクチンと带状疱疹ワ
クチンの2種で、費用に対し2
分の1の補助となる。



(書副地内)

柵原学園建設現場を視察した。
工事の進捗状況を見学し、現在の状況
と岩の掘削工事について確認した。

【こども笑顔課】 子育て支援ニーズ調査

問 子ども・子育て支援のニーズ
調査の目的は。

答 少子化対策の一環として、調
査結果をもとにニーズに沿っ
た支援の充実を目指す。

【福祉事務所】 老人福祉施設の修繕

問 各施設にかかった費用の主
な内容は。

答 静香園の非常灯改修、かしの
き荘の浴槽修繕、中央ふれあ
いセンターのボイラー設置。

【教育総務課】 柵原学園工事の増額

問 柵原学園建設工事の1,870万
円増額の理由は。

答 造成後の基礎工事にかかる、岩
の掘削費用が予定より増加し
たため。

【東京都日の出町】視察報告▶持続可能な福祉施策

〈日の出町の概要〉

●日の出町は、都心から西へ約50kmに位置する、人口約16,000人の恵まれた自然環境を擁した町。平成19年度に大規模商業施設が開店し、周辺地区の個人住宅・集合住宅の新築が進み、転入などにより人口が増加していった。

●財政面での大きな転機としては、昭和59年度の廃棄物広域処分場の受け入れ合意があり、



地域を巡る外出支援バス

これを契機に日の出町の財政状況は大きな変化を遂げた。

●その後の工業団地形成や企業誘致、大型商業施設の受け入れや宅地分譲に伴う人口増加など、土地利用の変化により固定資産税を中心とした大幅な税収増加が図られ、財政に大きな影響を与えた。

以降、ハード事業を推進する一方、福祉（高齢者・子育て支援や安全安心なまちづくり、教育施策などを中心に、各施

策の充実を推進してきた。

●令和2年度からは、第五次日の出町長期総合計画に基づき、「みんなでつくるう日の出町！」の実現に向けて、邁進している。

〈持続可能な福祉施策〉

●令和4年度から、福祉単独施策の見直しを図り、給付から支援へ事業の転換に努めている。限られた財源の再分配と効率的で安定した行財政運営の確立を図る。

●子育て支援施策として、多様化するニーズに 대응するため、子ども家庭支援センターなど新たな相談窓口の設置や居場所支援の充実を図る。

●高齢者支援施策として、外出支援（高齢者外出支援バス）や認知症支援（キャラバンメイト、認知症サポーター、認知症ケアパスの周知）などに取り組む。

【神奈川県中井町】視察報告▶切れ目のない子育て施策

〈中井町の概要〉

●中井町は、神奈川県南西部に位置する面積約20km²、人口約9,000人の緑豊かな町である。西には富士山を仰ぎみることができ

る。東京都心から車で約1時間弱の距離にある。

〈産後の支援策〉

●産後ケアとして、積極的に育児相談へつながるために、妊娠期からの切れ目のない支援体制を整えている。母子健康手帳交付時から、助産師・保健師と面談し、支援プランを作成

〈学校給食費無償事業〉

●平成27年度から段階的に補助を行い、令和4年度から全額無償化。令和5年度事業費は3,840万円。

〈学校給食食材の産地公表〉

●東日本大震災の発生に伴い、福島第一原発の事故による食材の安全性に対する保護者の不安を解消するために始まった取り組み。安全・安心な給食を提供するため、産地公表と地産地消の取り組みに努めている。



ひよっこひろばで和気あいあい

子育て応援オムツ券を妊婦訪問、検診、教室、子育て支援センターで交付するなど、面談機会の確保に取り組んでいる。

●妊産婦移動助成事業として、オンデマンドバスの利用に係る費用を助成。

*オンデマンドバス 乗り合いを基本とした予約制のバス

●平成27年度から段階的に補助を行い、令和4年度から全額無償化。令和5年度事業費は3,840万円。

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、税務課、上下水道課、産業観光課、建設課、みさき共創室、各総合支所地域振興課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／中西伶王、矢吹一郎、山本 資、松田英二、松島 啓の7人で審査しています。

【上下水道課】 下水道事業の今後

問 下水道公営企業会計化は進んでいるのか。

答 次年度以降にストックマネジメントを作成し、順次行っていく。

【理財課】 GISの予算措置の財源

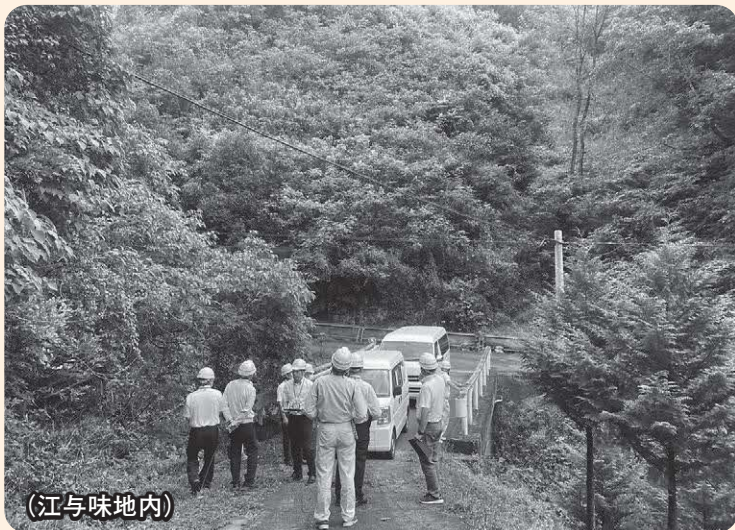
問 GISの予算措置は元気な町づくり基金であるが補助金はないのか。

答 交付税の対象にはなっているが、今後十分に検討していきたい。

【みさき共創室】 ふるさと納税返礼品

問 ふるさと納税返礼品の対応は。

答 先行予約に対しては次年度の支出を予定し、債務負担行為を設定している。



(江与味地内)

9月11日、旭地域・町道大山本線辺地対策事業の現地視察を行った。

早急な対応が必要である。

【地域みらい課】 公共施設の解体

問 公共施設の解体工事に問題はないのか。

答 旧施設にはアスベストなどがあり、解体にあたって負担額が増える。

【建設課】 大山本線の道路改良

問 町道大山本線の一部区間の見直しについては。

答 測量設計に約1年ほどかかり、その後5カ年計画を予定している。

【産業観光課】 畜産業者支援の内容

問 補助金の対象数はどのように把握していくのか。

答 岡山県より報告を受けており、そのデータを参考にして対応していく。

視察研修

広報特別委員会からの報告

議会広報特別委員会は、町民の皆さんに議会の活動をお知らせし、議会に対する理解を深めてもらう活動を担当しています。

委員長／三船博之 **副委員長**／松田英二 **委員**／中西伶王、矢吹一郎、板垣正寿、左居喜次の6人で運営しています。



8月28日に全国町村議会会館で開催された町村議会広報クリニックに参加した。

総評は、

- 1、日本の町村議会で屈指といえる広報誌の一つである。
 - 2、誌面の完成度も年々高まっている。
 - 3、紙とウェブサイトを連携させた広報を実践している。
- など、とても良い評価であった。

また、全国町村議会広報コンクールで最優秀賞を受賞した埼玉県寄居町議会を視察した。誌面作りのノウハウについての研修を行った。

これらの事で得た知識を広報誌づくりに活かして取り組んでいきたい。

議会運営委員会からの報告

議会運営委員会は、スムーズな議事運営を行うと共に、より活発な議会活動となるような企画を担当しています。

委員長／松田英二 **副委員長**／小林達夫 **委員**／三船博之、形井 圓、延原正憲、山本宏治の6人で運営しています。



8月10日に早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査2022で全国38位にランキングされ、岡山県内では1位の真庭市議会を視察した。

真庭市議会では「議会活性化に向けた戦略的な取り組み」として、「政策立案」「市民参加」「情報発信」の三本の柱を立てて、さまざまな取り組みが行われている。

議会改革度向上のためには、各常任委員会の機能強化が欠かすことの出来ない重要な条件になるという実践的な事例を学んだ。

美咲町議会に必要な取り組みを検証して活動をしていく。

議会費あれこれ

令和4年度分

◎ どれくらいお金がかかっているの？

▲ 議会運営にはこのくらいかかっています。

項 目	金 額
議員人件費	5,399万4,984円
一般職員人件費	1,277万7,908円
経常管理費	531万8,137円
各種負担金（退職議員の年金など）	2,119万8,012円
合 計	9,328万9,041円

◎ 報酬ってどれくらい？

▲ 月額報酬は次のとおりです。

議 長	31万5,000円
副議長	26万2,000円
常任委員長	24万6,000円
議 員	24万円

◎ 何日くらい活動しているの？

▲ 年間の活動日数です。

議 長	215日
副議長	176日
議 員 (議長・副議長を 除く12人)	128日

◎ 視察研修費ってどれくらい？

▲ 令和4年度の議員研修はコロナ禍が続いたため、オンライン研修や感染防止対策を十分行ったうえでの対面研修を庁舎内で実施しました。

視察研修費	270万3,766円
-------	------------

◎ 議長交際費は何に使うの？

▲ 交際費は議長が議会を代表して外部と交際し、議会運営をより円滑に進めるために必要とする費用です。主に見舞金や弔慰金などに使っています。

議長交際費	31万1,290円
-------	-----------

町政を問う

一般質問は町民を代表し、
町長・教育長などに
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
14	山本 宏治	1. 人生会議の取り組みができないか 2. マイナンバーカードの対応は
15	中西 伶王	1. 人口減少に対する今後の対策は 2. 保育園での待機児童などの現状は ◇ 限界集落の維持管理は
16	延原 正憲	1. 鳥獣被害防止対策の推進を 2. 登録DMOの認可申請状況は
17	板垣 正寿	1. 持続可能な農業の調査・研究を 2. 学校給食で食農教育の充実を

ページ	議員名	質問内容
18	三船 博之	1. 町内交通手段の見直しが必要 2. 公共用物品の管理はできているか
19	矢吹 一郎	1. 人口減少に歯止めをかける施策は 2. 美咲町行財政改革の進捗状況は
20	山本 資	1. 水道料金改定は考えているのか 2. ファミリーサポートの活用を ◇ 相続登記申請の義務化への対応は
21	藤井 智江	1. 柵原学園完成後でも施設改修を 2. 十分な公民館活動はできているか ◇ マイナンバーカードの現状は
22	松田 英二	1. 犯罪の防止には心のサポートを

議会だよりには、2問まで掲載
しています。
質問の状況については、
美咲町YouTubeチャンネルで
確認していただけます。

質問

人生会議の取り組みができないか

答弁

内容を周知し普及啓発に努める



山本宏治(やまもと こうじ)議員

問

人生会議とは高齢者と医療関係者やケアマネージャーなどが話し合い、今後の医療や生活プランを立て、いざという時のために自分自身の意思表示をしておくもの。さらに家族や親族とも情報を共有し、本人の希望に添える対応が行えるようにする取り組みである。

高齡社会を支える一つのツールとして本町でも対応できないか。

答

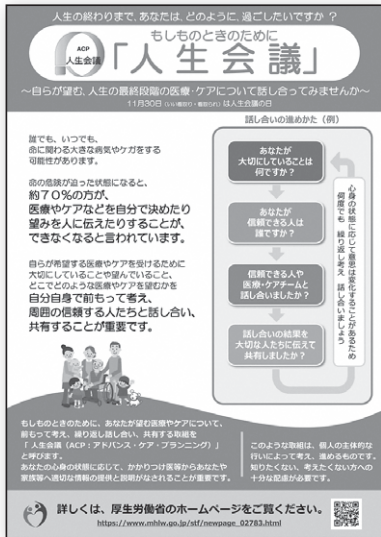
青野町長 人生100年時代を迎え、高齢者の皆さんが住みなれた地域で安心して暮らしてい

た。また、町として医療・介護関係者や町民に人生会議の内容を広く知ってもらえるよう普及啓発に努めていく。

答

櫻井長寿しあわせ課長 人生会議は個人の主体的な行いによって進めることになる。今後は、在宅医療・介護連携推進協議会などで専門家の力を借りながら、人生会議の普及が充実した生き方に寄与できるように検討する。

また、町として医療・介護関係者や町民に人生会議の内容を広く知ってもらえるよう普及啓発に努めていく。



質問

マイナンバーカードの対応は

答弁

カード取得率76%で県内上位



問

マイナンバーカード発行に向けた対応は怎么样了。

①休日開庁受付や出張受付の状況は。

②取得できていない人への対応は。

③トラブルに対する総点検の状況は。

④取得率によって地方交付税への影響は。

答 篠原住民生活課長 ①本町のカード取得率は76%で県内5位となっている。

休日開庁した臨時窓口では約1,000件のご協力をいただいた。

②未取得者への対応としては、現在高齢者施設を中心に出張申請を実施している。

③現在まで本町におけるカードによるトラブルは確認されていないが、ひもつけ方法の確認作業は終了している。

④マイナンバーカードの保有率が高い市町村を優遇する形で交付税が追加配分される。本町でも多くの皆さんのご協力によって追加配分される予定となっている。

問

設を中心に出張申請を実施している。

③現在まで本町におけるカードによるトラブルは確認されていないが、ひもつけ方法の確認作業は終了している。

現在、国からの点検指示を待っている段階である。

④マイナンバーカードの保有率が高い市町村を優遇する形で交付税が追加配分される。本町でも多くの皆さんのご協力によって追加配分される予定となっている。

⑤現在まで本町におけるカードによるトラブルは確認されていないが、ひもつけ方法の確認作業は終了している。

現在、国からの点検指示を待っている段階である。

⑥マイナンバーカードの保有率が高い市町村を優遇する形で交付税が追加配分される。本町でも多くの皆さんのご協力によって追加配分される予定となっている。

⑦現在まで本町におけるカードによるトラブルは確認されていないが、ひもつけ方法の確認作業は終了している。

現在、国からの点検指示を待っている段階である。

⑧マイナンバーカードの保有率が高い市町村を優遇する形で交付税が追加配分される。本町でも多くの皆さんのご協力によって追加配分される予定となっている。



有効に活用しよう



中西伶王(なかにし れお)議員



質問

人口減少に対する今後の対策は

答弁

危機感と可能性を持って取り組む

問 人口減少・人口流出に歯止めが効かない現状で、本町は今後どのような体制で町政運営を行うのか。

答 青野町長 ぶどうの生産面積が2倍・販売額が3倍に増加、義務教育学校周辺への宅地間い合わせの増加、地域おこし協力隊8人の受け入れ、美作岡山道路の進展、18件の新規事業所の創出、ふるさと納税が7・5倍に増加、出

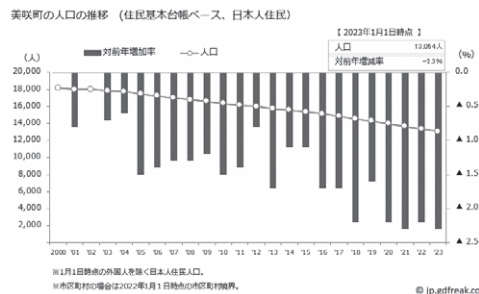
答 宗近総務副課長 地方公務員の給与などは各自治体の条例により定めるものだが、本町の給与体系は国家公務員に準じた扱いのため、独自の給料表や手当を定めることは難しい。

問 人口減少・人口流出に歯止めが効かない現状で、本町は今後どのような体制で町政運営を行うのか。

また、役場職員のなり手不足に対して専門職手当の充実や初任給を見直す考えはないか。

危機感と可能性を持ちながら、住民と行政が一体となって取り組めるかがこの問題の鍵であると思っている。

生率が県内2位に、全国学力テストが県内上位に、こうした取り組みが人口維持につながればと期待している。



減り続ける人口

質問

保育園での待機児童などの現状は

答弁

希望に沿った利用に努めていく

問

保育園に入園を希望しながら入園

することができない待機児童の現状はどうなっているのか。

また、兄弟・姉妹が別々の保育園に通園している状況を改善することはできないか。

希望しながら入園を園へ入園したケースもある。

年度当初の入園であれば、入園調整を行うことで兄弟が別々の施設を利用することはないが、年度途中では保育士の配置基準などにより

入園が困難になる施設がある。

できる限り希望に沿った施設が利用できるよう、勤務シフトの調整などで保育園受け入れ体制の整備に努める。

答

結石教育総務課長

令和4年度には待機児童はなかったが、特定の施設への入園を希望した幼児が定員などの理由により入園できなかったケースもある。



離ればなれは嫌だよね

質問

鳥獣被害防止対策の推進を

答弁

協議会で有効な施策を検討する



延原正憲(のぶはら まさのり)議員

問

鳥獣被害へはさまざまな対策を行っているが、依然として農作物の被害は続いている。

①町の取り組み状況は。

②直近3力年の被害金額および捕獲実績は。

③美咲町鳥獣被害防止対策協議会の目的と開催状況は。

④有害鳥獣の侵入を防止できる新たな装置を道路に敷設することを検討できないか。

答

青野町長

①町では猟友会駆除班による捕獲駆除対策・防護柵設置の補助・狩猟免許取得や免許更新経費の助成・鳥獣被害対策の専門家井上雅央氏による講習会の開催などを実施している。この講習会は今年度は2回開催する予定である。

答

米本産業観光課長

②被害金額・捕獲実績は下表のとおり。
③対策協議会は野生鳥獣による被害防止対策

の充実強化を図り農林業の被害軽減に資する目的で平成25年に設立したもので、最近是一年一回開催している。
④道路に敷設する装置については、協議会で調査研究を行い、有効な施策を検討したい。

美咲町鳥獣被害額及び鳥獣捕獲実績一覧表

年度	農作物被害額	有害鳥獣捕獲実績				合計
		イノシシ	ニホンシカ	ヌートリア	その他の鳥獣	
令和2年度	14,306千円	1,235頭	414頭	138匹	140匹	1,927頭
令和3年度	15,668千円	836頭	443頭	146匹	104匹	1,529頭
令和4年度	13,384千円	1,131頭	418頭	107匹	102匹	1,758頭

質問

登録DMOの認可申請状況は

答弁

今年度中には申請を行いたい



問

美咲DMOは令和2年に観光庁のDMO候補法人に登録され、国の正式認可を得るべく実績を積み上げる重要な時期にある。
①国の認可を得られる状況なのか。
②地域課題解決組織であるミサキアエル・プロジェクトのスタッフの採用状況はどうか。
③柵原ふれあい鉦山公園の旧片上鉄道の車両は老朽化が進み、スクラップになる危険がある。
動態保存再開に向けての取り組みは考えているのか。

答

米本産業観光課長
①登録DMOになるための要件を達成できるような事業を進め、今年度申請を行いたい。
②採用計画に遅れはあるが、順次採用を進めており、地域課題解決に向けて活動を開始している。残るコーディネーター1人とローカルベンチャー4人を現在継続募集中である。
③旧片上鉄道の車両は今年度に塗装作業を計画するなど、優先順位を付けて、まずできるところから整備を実施し、動態保存ができるよう進める。



積極的な観光振興へ



板垣正寿(いたがき まさとし)議員



質問

持続可能な農業の調査・研究を

答弁

環境保全型農業を推進していく

問

県と県内27市町村が共同で策定した「岡山県みどりの食料システム戦略基本計画」とはどのようなものか。

また、本町においてこの計画をどのように推し進めるのか。

答

米本産業観光課長 この計画は国の定めるみどりの食料システム法の規定に基づき策定した計画である。

みどりの食料システムとは、食の生産から販売、消費までのあらゆる関係者のつながりで成り立つ、大きな仕組みのことである。この計画は、自然環境や生物多様性に配慮



美味しいお米を子どもたちに

問

しながら、町内におけるみどりの食料システムを持続可能なものにするために、有機農業や環境保全型農業を推進していくものである。町としては県と連携して支援する体制であるので相談してほしい。

答

持続可能な農業の実現に向け、町内で環境保全型農業に取り組む農業者や、食の生産から消費に至るさまざまな関係者の意見を集約し、研究してみている。

答

米本産業観光課長 意見を聞きながら、調査・研究を行っていく。

質問

学校給食で食農教育の充実を

答弁

給食食材の認識を高めていく

問

町内の学校給食における地場産物、国産食材の使用率は。

答

結石教育総務課長 本町から岡山県への報告には、地場産物は49%、国産食材においては85%という使用率の統計値が出ている。今後とも、地元食材を積極的に取り入れ、安全でおいしい給食の提供に努めていく。

問

例えば学校給食に町内の環境保全型農業の米をイベント的に取り入れるなど、学校給食を通して自然環境や生物多様性を意識した食と農を関連づけた食農教育の充実を図ることはできないか。

答

結石教育総務課長 地域の生産者と

問

全国的に広がりつつあるオーガニック。

答

結石教育総務課長 今後、勉強していく。



みんなと給食楽しいな

質問

町内交通手段の見直しが必要

答弁

利便性を考えて見直しを検討する



三船博之(みふね ひろゆき)議員

問

黄福タクシーは、

町民の交通手段としてなくてはならないものになっているが、登録条件の見直しが10年近くされていない。健康寿命が伸びている現在、マイナンバーカードやDXを活用し目標を持つて制度を見直すべきではないか。支所間バスも空席が目立つ、これについてもバスの大きさ・運行時間の見直しが必要ではないか。

答

浦上くらし安全課長 黄福タクシーに

ついては、6月に運賃の値上げもあり利便性を考えて、持続可能な制度を維持するために、マイナンバーカード・DXも視野に入れて検討していく。支所間バスについては、利用者の減少を踏まえ庁舎移転に併せて運行内容を見直し、財源に余剰が生まれれば、財源として活用する。二種免許取得の助成支援は5年間で6件あり、これからも運転手不足解消のため、周知に努める。



利便性を見直しを

質問

公共用物品の管理はできているか

答弁

順次更新・整理を検討していく



問

町民が地域・イベントなどに使用する仮設テントが旧町時代の物である。関係人口を増やそうとする中、新しい物にするべきではないか。

また、学校・公園内の設備も老朽化が目立つが安全対策はできているか。設置してあるタイムカプセルは、教育委員会が把握しているのか。

記念樹も枯れたものが多いが整理が必要ではないか。

答

平賀生涯学習課長 仮設テントにつ

いては、老朽化したものもあるので今後順次、美咲町の名前のものに



思い出を忘れないでね

計画的に更新をしていくよう検討する。

設備品の老朽化については、職員が見回りをし、安全点検をしているが、安全対策に努め、皆さんにスポーツ・レクリエーションなどの活動を楽しんでいただけるよう努力する。

タイムカプセルについては、教育委員会管理のものと、学校管理のものとあるが、教育委員会が確認をしている。

記念樹については、他の施設も含めて植え替え・整理を検討していく。



矢吹一郎(やぶき いちろう)議員



質問

人口減少に歯止めをかける施策は

答弁

ニーズに合った施策に取り組む

問

人口減少の歯止め施策として、石

川県津幡町では人口自然動態増加を目指した結婚推進委員制度や3

世代同居等促進事業に取り組んでいる。本町においても取り組むべきである。

答

青野町長

岡山県少子化対策バックアップ事業

の中で、本町の課題に対して子育て世代や独身者にインタビューを実施し、ニーズを把握し

て真に必要な課題に対して検証を行い、より実効性のある施策に取り組む。

答

須々木こども笑顔課長
人口減少に歯止

おともだちが、いっぱいだ

めをかけるには、子どもを産み育てたくなるような環境整備と希望する男女が結婚することである。

その推進役となる結婚推進委員の取り組みは、現在は地域の繋がりが弱くなっていること、また個人情報扱いも厳しくなっていることなど、活動が制限されている状況であるが他自治体の動向を注視していく。

3世代ファミリー同居等促進事業については、現在の生活スタイルにマッチしたもので他の自治体の取り組みを調査研究する。

質問

美咲町行財政改革の進捗状況は

答弁

審議会の意見書を基に推進する

問

美咲町経営マネジメント指針に基づき令和4年度実施計画の進捗状況について、

審議会から提出された意見書の概要を示せ。

地域にとつて有効かつ無駄のない改革につなげるためにも、小規模多機能自治組織などからの意見を収集しての審議となっているのか。

答

青野町長

町が生き残るため必要な取り組みである3大プロジェクトには、一時的には多額の投資が必要となるが、将来に向けて本町が持続可能な町となるため将来負担を大幅削減出来るよう行財政改革に果敢に取り組む覚悟である。

答

林田理財課長

行財政改革の推進には地域住民の理解が必要であり、令和4年度に審議された5つの柱の中から「補助金のあり方の見直し」について新たに専門部会を設置し審議を行った。

公有財産マネジメントについては公共施設等個別施設計画を策定し公表する予定である。小規模多機能自治組織をはじめ利用者の理解をいたしながら丁寧に進めていく。



地域の大切な拠点



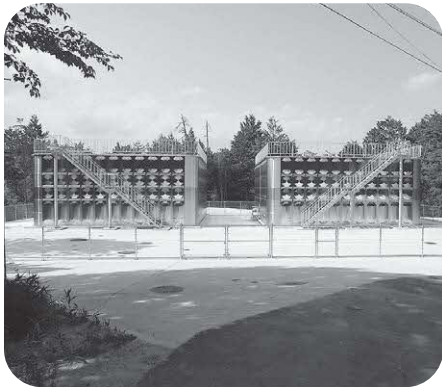
山本 資(やまもと たすく)議員

質問

水道料金改定は考えているのか

答弁

経営戦略により改定を検討する



どうする水道料金

問

給水人口の減少に伴う料金収入の減少、電気料金の高騰、資材価格の増加など収益的収支・基本的収支を考えると、水道料金の改定が迫っていると感じる。

安全で安定した水質を確保する努力があるから、蛇口を捻ると当たり前に水が出る。

安定した水道経営を行うためには健全な収支体系が必要となる。

水道料金の改定を考えているか。

答

牧野上下水道課長 水道事業は独立採算が原則で、使用者の利用料金収入などに

よる経営が基本だが、水道施設のほとんどが40年を経過し、施設やポンプの老朽化が進み多額の設備投資も必要である。

来年度以降、利用者の理解を得ながら経営戦略・アセットマネジメントを踏まえ水道料金の改定について検討していく。

利用者の理解を得るためには安定した施設管理体制が必要である。

問

牧野上下水道課長 安全な水を供給するため、適切な維持管理に努めると共に施設の改善を進めていく。

答

安全な水を供給するため、適切な維持管理に努めると共に施設の改善を進めていく。

質問

ファミリーサポートの活用を

答弁

有効な事業となるよう進める



問

子どもの笑顔が輝きあふれるまちづくり、子どもの笑顔はみんなの幸せ、地域ぐるみで子どもの成長を支えることが町政の目標である。

子育てを支援して欲しい人(依頼会員)、子育てを援助したい人(提供会員)がお互いに信頼関係を築きながら、子どもを預け、お互いに育児の助け合いを行うファミリーサポート事業について、提供側も利用する側もこの制度を知らない人が多い。

この事業の活用をもっと図るべきでないか。

答

須々木子ども笑顔課長 平成6年度から仕事と育児両立支援特別援助事業として開始され、平成27年度からファミリー・サポート・センター事業として正式に位置づけられた。対象は0歳から小学生までで、依頼会員の要望に応じサポートする提供会員を紹介する仕組み。

有償ボランティアであり、会員はボランティア保険に加入するので安心な仕組み。

地域ぐるみで子どもの成長を支える取り組みと考えるとおり、有効な事業となるよう進めたい。



こどもまんなか美咲町



藤井智江(ふじい ともえ)議員



質問

柵原学園完成後でも施設改修を

答弁

必要な施設整備は行っている

問 来年4月に開校する柵原学園について確認する。

① エアコン・プール・グラウンド・法面の整備など施設完了後でも状況に応じた施設の改修はできないか。

② 通学路の決定時期、危険場所の改善要望にいつ頃迄に対応できるか。

③ 制服の決定はもう少し慎重な検討が必要ではないか。

④ 4・3・2制を導入するが、開校後の検証はどう進めるのか。

⑤ 再度地域説明会が必要ではないか。地域説明会で話し合われた内



子どもたちのために

容を地域住民に周知が必要ではないか。

答 結石教育総務課長

① 開校時点で必要な整備を行い完成に向けて努力している。

② 通学路は正式には開校時点で学校長が決定するが、通学部会で検討し、開校準備委員会の承諾を得ている。

③ 総務・PTA部会で方針を決め開校準備委員会で承認されている。

④ P D C A サイクルを機能させ検証する。

⑤ ホームページ、みさきタウンテレビで収録した様子を放映中。

質問

十分な公民館活動はできているか

答弁

大きな役割を果たしている

問 公民館の活動状況を確認する。

① 公民館ごとの活動状況は。十分な公民館活動ができているか。

② 公民館職員はどういう資格を持っているか。

③ 西幸公民会館、三保公民館は改修時点で改築の計画はできなかったのか。

④ 中央公民館を白寿荘に譲渡する案件はどうなっているか。地域の理解は得られたか。

答

平賀生涯学習課長

① 4年度の利用状況は、延べ2万人の利用。学びの活動拠点として、人づくり、地域づくりに大きな役割を果たしている。



住民のために

② 公民館に社会教育主事3人を配置し定期的に会議を開き情報交換をしている。公民館の研修会参加、他の市町村との情報交換をしている。

答 篠原住民生活課長

③ 西幸公民会館と三保公民館は故障の修繕を急ぎ行ったもの。

答

光嶋地域みらい課長

④ 中央公民館は、多世代交流拠点施設への移転が決まっている。引き続き地域の理解と協力をいただけるよう努める。

質問

犯罪の防止には心のサポートを

答弁

再犯防止推進計画を策定する



松田英二(まつだ えいじ)議員

問

令和3年9月に久米郡保護司会から再犯防止推進計画策定の要望書が提出されているが、2年が経過する中で計画書の策定は行われていない。執行部は計画を策定するつもりはあるのか。

答

青野町長

本町では久米地区保護司会など専門的知識を有する人や保護観察所など関係機関の力を借りて、今年度で再犯防止推進計画の策定を進めていく。

問

犯罪を予防・防止するためには心理面のサポートが必須。

答

黒瀬教育長

それぞれの専門的分野に対して、本町ではどういう形が望ましいのか研究・検討が必要なものが多くある。引き続き勉強していきたい。

特に青少年に対する支援は最も重要である。青少年が抱える悩み

ごとの相談窓口として、岡山県青少年総合相談センターやおかやま法務支援センターが設置されている。

こうした外部機関の公認心理士の協力を得て青少年の健全育成を図るべきではないか。

おかやま法務少年支援センター

- 能力・性格の検査
- 問題行動の分析や指導方法の提案
- 本人や家族に対する心理相談
- 事例検討会への参加
- 研修会・講演会へ職員の派遣
- 法教育授業(出前授業)の実施

《出前議会、おかげ様で好評です》

議会広報特別委員会では、できるだけ多くの町民の皆さんと意見交換を行うことを目的として各種団体など小さなグループを対象にした「出前議会」に取り組んでいます。

令和5年7月4日には旭地域「江与味自治会」の皆さんのところへ出向き、議会活動から町政全般まで熱のこもったご意見をいただきました。

会場の確保と10人程度お集まりいただければ何処にでもお邪魔します。皆さまからのお声掛けをお待ちしています。



江与味自治会

議員研修

議会研修会を開催しました

美咲町議会では、議会議員の議会力の向上のために各分野における研修を実施しています。

今期は、デジタルが切り拓く新しい民主主義、政策に強い議会をつくる、議員のなり手不足の解消に向けた取り組み、ハラスメント防止について講師を招き勉強しました。

7月 5・6日 「全国地方議会サミット・オンライン研修」

5日 デジタルで変わる自治体・政策
オンラインとデジタルを活かす
デジタルが拓く新しい民主主義

6日 政策議会の一般質問
議選監査委員の意義と使命
政策に強い議会をつくる



8月 7日 「議員のなり手不足解消に向けた取り組み」

～議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き～
大正大学社会共生学部教授 江藤俊昭氏

8月 18日 「ハラスメント防止研修」

～議会ハラスメント防止条例制定の意義～
公務員研修協会代表理事 高嶋直人氏

全国の議会が美咲町へ

美咲町議会では、意見交換を通じてお互いの議会の良いところを学び、生かすことにより諸問題の打開策のヒントを得ようと、8月から10月にかけて積極的に全国からの視察研修を受け入れています。



- 関東町村議会議長会【議会運営視察研修】
- 岩手県一戸町議会【議会運営視察研修】
- 北海道松前町議会【議会広報視察研修】
- 三重県三重郡議会議長会【議会運営視察研修】
- 北海道栗山町議会【議会運営視察研修】

令和5年12月定例会の予定

令和5年12月に予定されている美咲町議会定例会は

◆ 12月4日(月)開会～12月15日(金)閉会

◆ 一般質問は12月5日(火)～6日(水)の2日間を予定しています

(なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)

表紙の紹介
～SNSを活用しよう～

美作高校1年生の英語
ユネスコ部・議会アンバサ
ダーの皆さんに議会のイ
ンスタグラム配信の表紙
を飾ってもらいました。

元気いっぱいの明るい笑顔に議会も力が湧きます。



町民の皆さんこんにちは

美咲町では子どもたちの英語学習に力を入れており、さまざまな企画を通して子どもたちに「生きた英語」に触れる機会を提供しています。

英語を楽しもう! Let's Enjoy English! 第1回

イングリッシュキャンプ 三休 English Camp in Miyasumi



子どもたちの英語力は
確実にアップしています。

●どんな内容ですか

イングリッシュキャンプは、子どもたちに「生きた英語」に触れる機会を提供し、英語に対する興味、関心を高め、楽しく学習することで、主体性や積極性、コミュニケーション能力の向上を目的として実施しています。

●いつどこで開催しましたか

令和5年7月29日（土）三休公園民話館にて、9時30分から15時まで行いました。

●どんなところが特徴ですか

ALT数名を英語指導講師に迎え、地域の人やNPO、大学生、高校生がボランティアスタッフとなり、幅広い交流と多様な学びの機会を提供していることが特徴です。

●参加対象は誰ですか

町内の小学校4～6年生と町民を含め、参加者は20名程度でした。

●具体的な活動内容は何ですか

- ① 英語で自己紹介
- ② 英語でお買い物レッスン（昼食購入体験）
- ③ 英語を取り入れた工作（ネイチャークラフト）
- ④ 英語交流ゲーム（英語歌遊び）

●運営は誰が行っていますか

主催は美咲町教育委員会生涯学習課です。運営協力（一部委託）はNPO法人ファミリーリングあゆむが行っています。

編集
後記

朝夕が、めつ
きり涼しくなり
秋の足音が聞こ
えてくるなかで、旭学園
では1年生から9年生で
行う初めての大運動会が、
開催されました。

柵原小・中学校では今年で最後となる運動会を開催し有終の美を飾る素晴らしい大運動会となりました。

議会においては美咲町の新しい時代に向けて、旭・中央多世代交流拠点整備事業、柵原義務教育学校建設事業などの最終チェックを行い、さまざまな課題の審議に真剣に取り組んでいます。

さらに、9月から広報委員会ではSNSの発信を開始しています。定例会、各委員会の開催状況などを皆さんのお手元にお届けしています。皆さんのご意見をぜひお聞かせください。

（矢吹記）

議会広報特別委員会

委員長 三船 博之

副委員長 松田 英二

中西 伶王

矢吹 一郎

板垣 正寿

左居 喜次